

センター便り

2015年度 春号

静岡県伊豆の国市寺家202

TEL 055(949)1165

伊豆医療福祉センター

センター便り編集委員会発行

サポートセンター

《おひらき》

相談支援業務

について

相談支援専門員 杉本智司

季節が移り、私の家では米作りの準備や、次の野菜を植えるための畑の準備が少しずつ始まり、今からその収穫を楽しみにしています。

さて、今回は、私が所属する相談支援事業所『サポートセンターみらいず』（以下「みらいず」）の業務について簡単に紹介をさせていただきます。「みらいず」では2名の担当職員を配置し、様々な相談業務を行っています。

一つ目は「静岡県発達障害者支援センター機能強化事業」です。この事業は、静岡県から受託しているもので、近年テレビや新聞などで取り上げられることも多い「発達障がい」のある方に対する支援を行っています。発達障がいの理解やその方々への支援方法等について、依頼があった学校や施設等に訪問しての啓発活動や、個別の相談などを通して支援しています。

二つ目は「静岡県障害児者

地域療育支援センター事業」です。こちらも静岡県から受託している事業で、地域で生活する障がいのある方を「支援している方」に対して、医療や福祉の専門的な立場から支援をさせていただくものです。医師をはじめ、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士・看護師・管理栄養士・保育士・社会福祉士といった様々なスタッフが対応します。学校や園の先生方に外来に来ていただいたり、こちらから訪問させていただいたりして、リハビリや介助等の具体的な方法について助言・伝達をさせていただいています。

専門的な知識や技術をお伝えすることで、それを普段の生活の中にも取り込むことができ、支援する側もされる側も、より快適な生活を送ることができるようになるのではないかと考えています。

また、個別の支援だけではなく、講演や療育相談会の開催（しゃばんだま相談会）といった活動も行っています。

三つ目は「計画相談支援事業」と呼ばれるものです。「障害福祉サービス」を利用されている方に対して、サービスの利用計画（サービス等利用計画）と言います）を作る事業です。「計画書を作る」とい

うことだけが目的ではなく、計画書を作る過程を通して、その方の障がいや性格などを理解し、その方らしい生き方をサポートすることが一番の目的だと思っています。また、関係事業者や行政機関、家族の方などと連携を取り合うことで、チームを組んでその方の生活を支えていくことができます。この「計画相談支援事業」は、平成24年度に制度化され、3年間の猶予期間を経て平成27年度から義務化されています。したがって、現在は障害福祉サービスを利用する全ての方が「サービス等利用計画」を在住市町に提出しなければなりません。ご自身やご家族が作成することもできますが、専門的な知識を持ったスタッフが間にいらせていただくことで得られるメリットも多くあるのではないかと思います。

その他にも、福祉に関する相談を幅広く受け付けています。「みらいず」でお答えすることができない内容については、適切な相談機関を紹介するお手伝いをさせていただきますので、どんな内容でもお気軽にご相談をいただければと思います。

新任医師の

お知らせ

平成28年度より、原泉（はいずみ）医師（小児科）が着任しました。

運動や言葉などの発達が気になるお子様の診察を致します。



卒業おめでとう

【感謝】

✿Y・Y母

優花、卒業おめでとう。

12年間の学生生活の中で「笑顔」の文字が増えた事が一番の宝物です。母子ショートの間から毎晩、職員の腕の中に居た娘でした。沢山の方の支えで、こうして卒業できたのだと実感しています。大きな節目を迎える事が出来て、心から感謝しています。ありがとうございました。



成人おめでとう

✿H・T母

「光陰矢の如し」という諺の様に、アツと言う間の20年。今まで拓哉とどの位の時間を一緒に過ごせたのかと、ふと考えることがあります。仕事をしていた為、夜と休日しか一緒にいられてなくて寂しかった・・・小学校入学に伴いセンターに入所し、寂しい時間は増えましたが、元気一杯の男子に成長しました。泣き虫で小さかった拓哉は身体も大きくなり、力も強くなり、内面の成長も破竹の勢いでした。健康に育ってくれて、ありがとうございます♡



ポレポレ

卒園・修了式

☆K・R（母）

3年間、優しい先生方とたくさんのお友達に囲まれて、笑顔いっぱい過ごせました。ありがとうございました。

☆H・Y（母）

触れ合い遊びと給食が大好き。工夫と愛情溢れる保育を通じて、多くの頑張り笑顔を見せてくれました。

☆Y・R（母）

3年間ポレポレに通い、お友達と関わって、今ではお世話を焼いたり優しく接したりと、ものすごく成長しました。

☆S・H（母）

あまり通えなかったけど、お友達が出来て、楽しく過ごせて良かったです。

☆今年度は4名の方が

ポレポレを卒園されました。

おめでとうございます。



思い出の会



調理師 奥五澤さよ子

勇ましい太鼓の音で始まった思い出の会。今年は「喜怒哀楽」をテーマに、スライドショーを中心に行われました。この一年間の行事や日常生活で撮った写真。ほんの数か月前なのに、どれも懐かしい写真ばかりです。

また、親の会の皆様「世界に一つだけの花」を歌って下さり、大いに盛り上がりました。

利用者の皆様が楽しみにしている昼食は、春のお弁当をイメージして作りました。アツと言う間に完食して頂き、本当に嬉しく思いました。



『どんつく』

事務員 土屋 光平

『どんつく』とは、伊豆医療福祉センターの利用者様からなる太鼓チームです。一年を通して、センター内行事や外部のイベントで太鼓の演奏発表をさせてもらっています。今年も多くのイベントで演奏発表の機会を頂き、『どんつく』のメンバーにとっても実りのある一年となりました。

外部で発表する機会もありますので、見かけた時は少し足を止めて、『どんつく』の太鼓の演奏に耳を傾けていただければと思います。

《27年度の太鼓行事》



- ＊5月 沼津海人祭
- ＊7月 あゆみ保育園納涼祭
- ＊7月 葦山反射炉記念行事
- ＊8月 夏祭り（センター内）
- ＊10月 全国障害者大会

（金沢）

こども太鼓祭り

（オラツチエ）

伊豆の国市文化祭

（アクシスカつらぎ）

伊豆の国市

ふれあい広場

（福祉保健センター）

＊11月 重心児（者）を守る会

東海北陸ブロック大会

（伊豆長岡）

にじの会

（センター内）

＊12月 クリスマス会

（センター内）

＊3月 思い出の会

（センター内）

行事のお知らせ

《公開セミナー》

「発達障害のお子さんの

行動を理解するために」

お子さんが感じている世界って

どんなだろう？

～感覚統合の視点で～

講師 小西 紀一先生

（姫路独協大学 保健医療学部

作業療法科）

日時 7月9日（土）

9時15分～11時30分

会場 葦山福祉・保健センター

（時代劇場）

＊好評により、申込みを

締め切らせて頂きました

《遠足》

平成28年度は3グループに分かれて行予定です。

★6月11日（土）

一日コース

伊豆三津シーパラダイス

★7月・9月 半日コース

今後の御活躍を

お祈り致します

理学療法士 和田 愛里

約4年間、理学療法士としてセンターで働かせていただき

ました。入職した頃は、慣

れるまで戸惑うことも多くあ

りました。入所・外来で担当

させて頂いた方々の笑顔に癒

され、助けられながら楽しく

仕事をする事ができました。

センターで働くことが出来て、

本当に良かったです。4年間

ありがとうございました。

作業療法士 久保 友明

今回、伊豆医療福祉センタ

ーを退職することになりました

た。早いもので入職して8年

が経ちました。

振り返ってみるとお子さん

やお母さん達、ご家族に支え

られながらなんとか毎日やつ

てくる事が出来ました。お

子さんたちと過ごした時間は、

とても楽しく充実した時間で

した。

次の職場でもお子さんと楽しく、充実した時間が送れるように頑張りたいと思います。8年間ありがとうございました。

ありがとうございます

☆洗濯たみボランティア

やまびこさん 様

葦の花 様

みどり会 様

（山の仲間会）

☆読み聞かせボランティア

言の葉 様

☆奉仕作業

若鮎会 様

伊豆医療福祉センター

親の会 様

☆寄贈品

調布市民生委員 様

みどり会 様

若鮎会 様

伊豆医療福祉センター

親の会 様

やまびこさん 様

他にも沢山の皆様の温かい御心遣い、ありがとうございます。



編集後記

掲載する写真などに苦勞した一年でしたが、ホームページにも良い写真を載せることができました。

＊広報委員 A